

## 5-5. ロケータや治具の取付

- ・ チャックボデー表面にロケータや治具を取り付ける場合は、図 13 に示す追加工範囲内にタップまたは穴明けを行ってください。

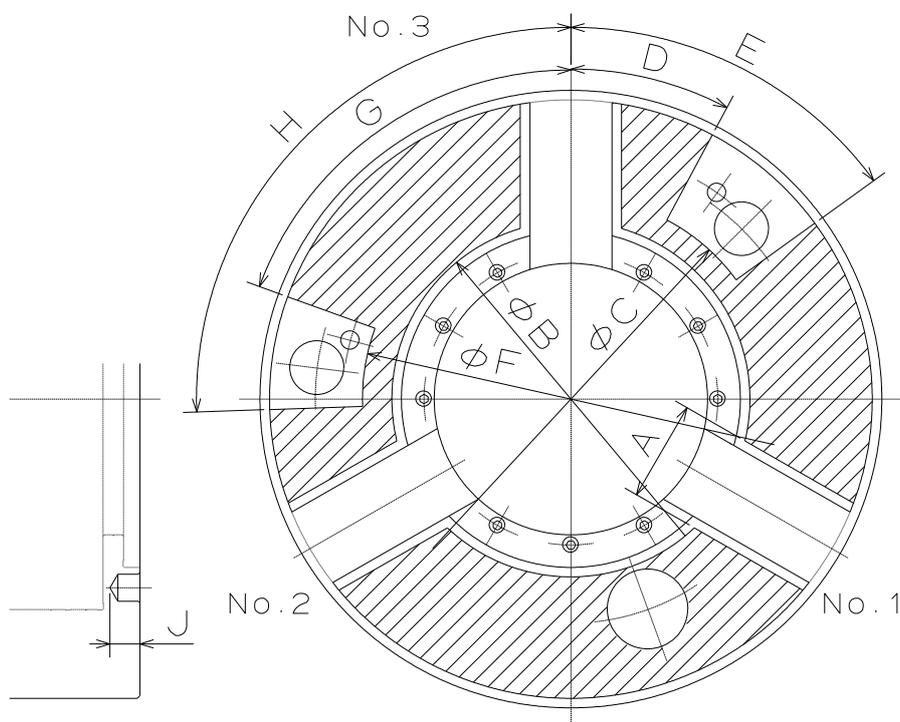


図 13

表 6

	UPR450	UPR600	UPR650	UPR710	UPR910
A	100	100	120	120	120
$\phi B$	262	364	419	469	657
$\phi C$	299	405	475	535	723
D	26	18	18	23	23
E	54	40	45	45	42
$\phi F$	305	438	487	546	745
G	70	49	50	35	56
H	92	69	69	51	64
J	21	26	32	32	31

(mm)

### **危険**

- 許可された範囲以外のチャックの改造をしてはならない。チャックが破損するだけでなく、チャックや工作物が飛散する恐れがあり、危険。
- ロケータまたは治具には遠心力による飛散防止対策(ドウエルピン等)を施し、十分な強度のボルトで取り付けること。ロケータや治具が飛散する恐れがあり、危険。